

治安維持法 100 年を考える奈良県のつどい

ことしは戦後 80 年。この「戦後」とは、1931 年の満州事変、37 年日中戦争、41 年太平洋戦争と、連続した「15 年戦争」のことです。戦時体制をつくるために、1925 年に制定されたのが「治安維持法」。国内外で多くの人々が、捕らえられ、拷問を受け、1000 人以上が亡くなったといわれます。稀代の悪法による弾圧は、人々の口をふさぎ、外国を敵視し、戦争に協力する「熱狂」をつくり出しました。外国人を攻撃する「排外主義」が横行する現代、治安維持法 100 年から、私たちが何を学ぶか？ 一緒に考えてみませんか。



記念講演

「治安維持法と現代社会」(仮題)

講師 渡辺治さん (一橋大学名誉教授)

わたなべ おさむ さん 1947 年生まれ。1972 年東京大学法学部卒業、一橋大学社会学部教授、同大学大学院社会学研究科教授などを経て 2010 年名誉教授。東京自治問題研究所理事長、日本民主法律家協会理事長を歴任。「九条の会」事務局。主な研究テーマは、経済のグローバル化のもとで日本社会と国家の大規模な変容の性格と方向を探索、『講座現代日本(1)』など著書、共著多数。

◆つどいプログラム◆

- 開会
- 一二三礼 ミニコンサート「いのちと平和を歌う」

ひふみれい さん 大和高田市在住、ミュージシャン、劇団「夢歩行虚構団」俳優、ピアノ弾き語りのファーストアルバム「歌を持たない」を 2022 年に発表、25 に年シングル「女神」をリリース。幅広いレパートリーを生かし全国で活動中。

- 朗読「治安維持法で弾圧された犠牲者の手記」
- 記念講演「治安維持法と現代社会」(仮題)渡辺治さん
- 閉会



■参加予約をお願いします。

左の QR コードから予約フォームに参加する方を登録してください。サイトは <https://ssl.form-mailer.jp/fms/5913c34d864483>

あなたは知っていますか？

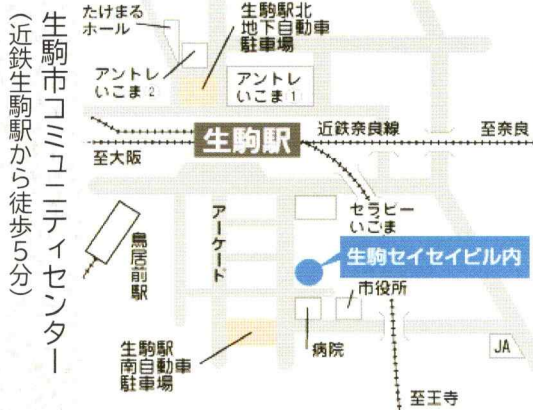
「戦争反対」が罪になった時代

11/9 (日) 2025 年

14:00 開会

生駒市コミュニティセンター(下図)

資料代 1,000 円(学生・障がい者割引有)



治安維持法 100 年を考える奈良県民の会

代表 浅川 肇 (歌人 平和・人権 マイノリティ支援 戦争をさせない奈良 1000 人委員会呼びかけ人 奈良市民連合共同代表)
事務局 メール uebayasi@kcn.jp 移動 090・1440・8194 (植林)

「真実語る人々」を弾圧

治安維持法が摘み取った大衆の判断力

◆戦争の本質を見抜いたプロレタリア作家

1933年2月、作家の小林多喜二が治安維持法で検束され拷問によって殺されました。虐殺される直前に書いた小説「党生活者」は、1931年の満州事変を取り上げました。「満州は日本の生命線」などと、この戦争は国民のためだというように、政府や新聞などが宣伝しているが、じつは軍部や財界による中国への侵略行為だと解き明かしました。

◆国民がコロッとだまされる危険は？

多喜二らプロレタリア作家は侵略戦争を正当化する政府、資本、軍部のウソを見抜いていました。このように真実を語る行為を摘み取ったのが治安維持法です。100年を経た今、支配者のウソに国民がコロッとだまされる危険はないでしょうか。

◆現代につながる治安維持法

7月の参院選挙では「日本人ファースト」を掲げる政党が躍進しました。自分の生活が苦しいのは外国人が優遇されているからだ、根も葉もない主張に多くの人々が共感しました。でも、真の理由は賃金や雇用が劣悪な「非正規労働者」が増えたからでしょう。また、「軍拡」に途方もない額のお金が使



▲虐殺された小林多喜二の遺体を囲むプロレタリア作家たち 1933年2月22日、東京・馬橋（現在の杉並区阿佐谷南）の小林宅

われているせいでしょう。治安維持法で真実が隠された時代と現代社会はつながっているといわねばなりません。

治安維持法 100 年を考える奈良県のつどい

- 2025年11月9日(日)13:30 開場 14:00 開会
- 生駒市コミュニティセンター文化ホール
- 講演 渡辺治さん ■ 歌 一二三礼さん ■ 朗読など
- 資料代 1,000 円 (割引有) ■ 参加予約(表面参照)

私たちは治安維持法 100 年を考える奈良県民の会の活動に賛同しています

■ 治安維持法 100 年を考える奈良県民の会呼びかけ人代表 浅川肇（ハッコ支援ネットワーク代顧問）稲次直樹（社会医療法人健全会名誉理事長）岩下美佐子（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟副会長）加藤 宜之（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部会長）川瀬俊治（元奈良新聞）満川悠介（大阪府立大学名誉教授）

■ 呼びかけ人 新子和久、池田隆、伊藤恵美子、糸谷哲朗、稲月敏子、稲月典澄、稲葉耕一、井上あや子、井上昌弘、今井光子、岩本綾野、植林成光、内橋裕和、馬出昭浩、榎本恭一郎、大槻烈、大森万蔵、岡崎邦夫、奥野つね子、小幡尚代、加来洋八郎、兼平雄二郎、河戸憲次郎、喜田英治、木村宥子、黒川恵三、小嶋照子、小林照代、阪口昌通、坂下倅子、阪本美知子、佐川愛子、佐川道夫、佐々木章夫、佐々木育子、佐藤真理、柴田勝久、島啓子、霜島純一、下村敏之、杉本英雄、樽井幸一郎、高栄滋、高尾敦子、高橋勝、瀧本妙子、田中幹夫、田辺実、辻本和行、中井良香、中川洋子、中西巖、中村篤子、浪岡光子、南部八千代、西岡知宏、野崎正輝、野沢えみこ、野原智、畑三千代、幡野利雄、服部正喜、馬場彰子、林友雄、檜垣峰子、平川邦昭、平井富勝、深澤司、福井義博、福西由紀子、藤田龍平、堀田美恵子、前圭一、前山研志、松崎真子、松下稔、松下光人、松村光庸、松本健、南浦育弘、水谷和宏、三村純子、三宅法雄、宮城恭子、宮本次郎、村上敦子、森川満、森永雅世、森本忠紀、八木健彦、山崎直幸、山口昭良、山村さちほ、吉岡昇、吉兼和子、吉川好胤、吉田恒俊、吉村章、寮美千子、渡辺哲久、治安維持法賠償同盟奈良県本部、日本国民救護会奈良県本部、奈良県平和委員会、奈良民主商工会、新日本婦人の会奈良県本部、年金者組合奈良県本部、年金者組合御所支部、奈良民主医療機関連合会、生駒革新懇、九条の会奈良県ネットワーク、香芝九条の会、ごせ九条の会、さよなら原発奈良県ネット、ぷらっとほーむ奈良、アイ女性会議なら、いのちと平和を考える会、憲法を生かす奈良県民の会、天理市憲法を生かす会、橿原市憲法を生かす会、憲法を生かす北葛の会、けんぽう宇陀の会、日本共産党奈良県委員会、立憲民主党奈良県総支部連合会、社会民主党奈良県連合、みどり奈良、新社会党奈良県本部（2025年9月10日まで）